

府中市立府中第六中学校 令和7年度 1学年 国語科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	ことばに出会うために (詩)「朝のリレー」/(詩)「野原はうたう」/ 声を届ける/書き留める/言葉を調べる/	43 書写 8
5	1 学びをひらく (物語)「はじまりの風」/情報を的確に聞き取り、要点を伝える/言葉1 音声の仕組みや働き/話の構成を工夫しよう/漢字1 漢字の組み立てと部首/漢字に親しもう1 (書写1)楷書で書こう	
6	2 新しい視点で (説明)「大根は大きな根」/(説明)「ちょっと立ち止まって」/情報整理のレッスン 比較・分類 /情報を整理して説明しよう/言葉2 指示する語句と接続する語句 3 言葉に立ち止まる (詩)空の詩三編/言葉3 ささまざまな表現技法/比喻で広がる言葉の世界/文法への扉1 言葉のまとまりを考えよう/語彙を豊かに	
7	情報 情報収集の達人になろう (書写2)楷書と仮名を調和させて書こう 読書を楽しむ/本の中の中学生 /読書案内	
9	4 心の動き (物語)「大人になれなかった弟たちに…」/(小説)「星の花が降るころに」/項目を立てて書こう/ (推敲)読み手の立場に立つ/ 言葉4 方言と共通語/漢字2 漢字の音訓 (書写3)行書で書いてみよう	50 書写 9
10	5 筋道を立てて (説明)「言葉」を持つ鳥ツツウカ /思考のレッスン1 意見と根拠/根拠を明確にして書こう/漢字に親しもう3/文法への扉2 言葉の関係を考えよう/(詩)聴きひたる「大阿蘇」 6 いにしへの心にふれる (古文)いろは歌/(古文)蓬菜の玉の枝「竹取物語」/(漢文)今に生きる言葉	
11	7価値を見いだす (説明)「不便」の価値を見つめ直す	
12	思考のレッスン2 原因と結果 /(話し合い)進め方について考えよう/漢字に親しもう4/文法への扉2 読書に親しむ 研究の現場にようこそ (書写3)書初めを書こう	
1	8 自分を見つめる (小説)「少年の日の思い出」/文法への扉3 単語の性質を見つけよう/(随筆)二十歳になった日/構成や描写を工夫して書こう/漢字3 漢字の成り立ち 1年間の学びを振り返ろう/(詩)ばくが ここに	27 書写 3
2	(書写4)行書を生かして書こう	
3		
年間時数		140

2. 1学年国語科の目標

(1)	(2)	(3)
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにすることができるようにする。	言葉が持つ価値に気付くとともに進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを確かなものにしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしている。
評 価 方 法	・定期テスト(漢字・文法) ・休み明けテスト ・語彙関連テスト (漢字小テスト・文法テスト) ・授業内の取り組み (ワークシートなど)	・定期テスト(読む・書く) ・(聞き取り・記述等)領域小テスト ・1分間スピーチ、発表など ・意見文・レポートなどの作成 ・授業内の取り組み (ワークシートなど)	・振り返りシートの記入 ・ノートやワークシートの記入状況 ・その他の提出物 ・授業観察 (学習課題に対して積極的に進んで取り組もうとしたり、粘り強く課題解決に取り組もうとする態度)
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和7年度 1 学年 社会科 評価計画

1 年間の授業の目安

月	単元・章・節			時数
4	地理 第1部 世界と日本の地域構成 第1章 世界の姿 第2章 日本の姿	歴史 第1章 歴史のとらえ方・人類の誕生	9	
5		古代 第2章 1節 古代文明と三大宗教	12	
6		2節 旧石器時代・縄文時代	12	
7		弥生時代・古墳時代 3節 飛鳥時代・奈良時代	6	
8	第2部 世界のさまざまな地域 第1章 人々の生活と環境 第2章 世界の諸地域 第2節 ヨーロッパ州 第3節 アフリカ州	中世 第3章 1節 平安時代 鎌倉時代 2節 室町時代 戦国時代	12	
9			12	
10			12	
11			6	
12	第4節 北アメリカ州 第5節 南アメリカ州 第6節 オセアニア州 第1節 アジア州		6	
1			12	
2			6	
3				
年間時数				105

2 1 学年 社会科の目標

	(1)	(2)	(3)
地理的分野	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	日本や世界の地域に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深める。
歴史的分野	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される我が国の歴史に対する愛情、国民としての自覚、国家及び社会並びに文化の発展や人々の生活の向上に尽くした歴史上の人物と現在に伝わる文化遺産を尊重しようとするものの大切さについての自覚などを深め、国際協調の精神を養う。

3 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
(地理的 点の 分趣 野旨)	我が国の国土及び世界の諸地域に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解しているとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	日本や世界の地域に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
(歴史 点の 分趣 野旨)	我が国の歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特徴を踏まえて理解しているとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめている。	歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し複数の立場や意見を踏まえて公正に選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、議論したりしている。	歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の担い手として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
評価 方法	ワークシート その他提出物 小テスト 定期考査	ワークシート その他提出物 小テスト 定期考査	ワークシート その他提出物 小テスト 定期考査
割合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和7年度 1学年 数学科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名		時数
4	第0章 算数から数学へ	1節 整数の性質	4
5	第1章 正負の数	1節 正負の数 2節 加法と減法 3節 乗法と除法 4節 正負の数の利用	25
6	第2章 文字と式	1節 文字を使った式 2節 文字式の計算 3節 文字式の利用	21
7	第3章 方程式	1節 方程式とその解き方	17
8	第4章 比例と反比例	2節 1次方程式の利用 1節 関数と比例・反比例 2節 比例の性質と調べ方 3節 反比例の性質と調べ方 4節 比例と反比例の利用	24
9	第5章 平面図形	1節 図形の移動 2節 基本の図形 3節 おうぎ形	17
10	第6章 空間図形	1節 いろいろな立体 2節 立体の見方と調べ方 3節 立体の体積と表面積	21
11	第7章 データの分析と活用	1節 データの整理と分析 2節 データの活用 3節 ことがらの起こりやすさ	11
12	年間時数		140

2. 1学年数学科の目標

(1)	(2)	(3)
数の性質や文字式の表し方、関数関係の事象、平面図形の作図や空間図形、データの活用などにおいて、基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の性質や計算について考察したり文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目しその特徴を表・式・グラフを相互に関連付けて考察する力、データに着目し論理的に分析する力を養う。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・各章の学習内容についての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数値化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	数の性質や計算について考察したり文字を用いて数量の関係や法則などを考察したりする力、図形の構成要素の関係に着目し図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目しその特徴を表・式・グラフを相互に関連付けて考察する力、データに着目し論理的に分析する力を身に付けている。	数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。
評 価 方 法	・定期テスト ・単元テスト ・小テスト(知識技能) ・発問に対する応答内容	・定期テスト ・単元テスト ・小テスト(思考判断表現) ・発問に対する応答内容	・問題への取り組み ・授業理解とまとめ(レポート) ・発問に対する応答 ・ノートなどの内容 ・自己評価の内容 ・小テスト(主体的な取り組み)
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和7年度 1学年 理科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	単元1 いろいろな生物とその共通点 第1章 生物の観察と分類のしかた	6
5	第2章 植物の分類 第3章 動物の分類	9
6	単元2 身のまわりの物質 第1章 身のまわりの物質とその性質	12
7	第2章 気体の性質 第3章 水溶液の性質	6
9	第4章 物質の姿と状態変化	12
10	単元3 身のまわりの現象 第1章 光の世界 第2章 音の世界	12
11	第3章 力の世界	12
12		9
1	単元4 大地の変化 第1章 火をふく大地 第2章 動き続ける大地	9
2	第3章 地層から読みとる大地の変化	12
3		6
年間時数		105

2. 1学年理科の目標

(1)	(2)	(3)
理科の見方・考え方をはたらかせ、身近な生物についての観察・実験などを行い、いろいろな生物の特徴を見出した特徴にもとづいて生物を分類するための技能を身につけさせ、思考力、判断力、表現力などを養う。	さまざまな環境のなかにそれぞれ特徴がある生物が生活していることを見だし、適当な観察器具の使い方や観察記録の身につける。さらに、観察した生物などを比較して見いだしたさまざまな共通点や相違点をもとにして、生物が分類できることを理解する。	身近な植物と動物の外部形態の観察を行い、いろいろな共通点や相違点があることを見いださせ、それぞれのからだの基本的なつくりを理解する。また、共通点や相違点にもとづいて植物と動物がそれぞれ分類できることを見だし理解する。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	身近な生物に関する事物・現象についての基本的な概念やからだのつくりなどを理解しているとともに、生物学的に探究するために必要な観察に関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	身近な生物に関する事物・現象から問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、生物学的に探究している。	身近な事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評 価 方 法	・定期テスト ・小テスト ・技能テスト	・実験レポート ・実験・観察プリント ・定期テスト ・授業ノート など	・授業の振り返り ・ワークや授業プリントの取り組み ・授業観察 など
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和7年度 1学年 音楽科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	オリエンテーション 歌声づくり「校歌」「君をのせて」 音符に親しもう	16
5	鑑賞「ジョーズのテーマ」「春」 指揮について	
6	合唱コンクール課題曲 アルトリコーダー(1)	
7		
9	合唱コンクール課題曲・自由曲	18
10	鑑賞「魔王」	
11	日本の歌「赤とんぼ」	
12	創作 Lets Create!	
1	鑑賞 雅楽「越天楽」 日本の民謡	11
2	アジアの諸民族の音楽 アルトリコーダー(2)	
3	進級に向けて「校歌」	
年間時数		45

2. 1学年音楽科の目標

(1)	(2)	(3)
曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。	音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。	音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表現している。	音楽を形作っている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。	音や音楽、音楽文化に親しむとができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。
評 価 方 法	ワークシート 実技テスト 定期テスト	ワークシート 実技テスト	ワークシート 授業への取り組み 授業振り返りシート
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和7年度 1学年 美術科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	オリエンテーション 芸術の分野についての学習(鑑賞) 色についての学習(色彩)	2 1 4
5		
6	レタリングの学習(明朝体とゴシック体の描き方) 絵文字のデザイン(デザイン)	8 6
7		
9	世界に一つだけの生き物(彫塑) 生き物のスケッチ 生き物のアイデアを構想する	15
10	生き物のデザインを考える デザインした生き物を塑造によって表現する	
11		
12		
1	日本美術や西洋美術についての学習(鑑賞) モダンテクニックの学習 ふしぎなかたちや色の世界(絵画)	1 8
2		
3		
年間時数		45

2. 1学年美術科の目標

(1)	(2)	(3)
対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
評 価 方 法	・作品 ・ワークシート ・定期テスト	・作品 ・ワークシート(発想) ・定期テスト ・作品鑑賞のワークシート	・制作に向かう姿勢 ・作品 ・定期テスト ・作品鑑賞のワークシート
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和7年度 1学年 保健体育科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	○体づくり運動・ラジオ体操第一・集団行動	体 20
5	○体育大会練習 ○陸上競技(短距離走・リレー)	
6	○新体力テスト	体 10
7	○水泳 ○体育理論(運動やスポーツの多様性)	保 3
9	○水泳 ○陸上競技(ハードル走)	体 33
10	○バレーボール	
11	○マット運動 ○柔道	
12	○保健(健康な生活と疾病の予防)	
1	○現代的なリズムのダンス	体 24
2	○ソフトボール ○バスケットボール	
3	○サッカー ○保健(心身の発達と心の健康)	保 7
年間時数		105

2. 1学年保健体育科の目標

(1)	(2)	(3)
【体育分野】 運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性を理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。 【保健分野】 個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。	【体育分野】 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。 【保健分野】 健康についての自他の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。	【体育分野】 運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。 【保健分野】 生涯を通じて心身の健康の保持増進を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	【体育分野】 各運動の技の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法及び文化としてのスポーツの意義の考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。 【保健分野】 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康について、個人生活を中心として科学的に理解しているとともに、基本的な技能を身に付けている。	【体育分野】 生涯にわたって運動を実践するための仲間や自己の課題を発見し、互いに合理的な中イケルに向けて運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫し、仲間や自己の考えを表現することができる。 【保健分野】 健康な生活と疾病の予防、心身の機能の発達と心の健康について、個人生活の健康に関する課題を発見し、その課題解決に向けて自ら考え判断し、表現することができる。	【体育分野】 各運動での経験を通して、公正に取り組み、仲間と協力し、自己の責任を果たし、自ら進んで参画しようとする姿勢を持ち、互いの違いを大切にしようとする意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって運動に親しむ態度を身に付ける。 【保健分野】 仲間や自己の健康の保持増進についての学習に自主的に取り組もうとしている。
評 価 方 法	○実技テスト ○定期テスト ○授業観察	○実技テスト ○定期テスト ○学習プリント ○授業観察	○実技テスト ○定期テスト ○学習プリント ○授業観察
割 合	3分の1	3分の1	3分の1

1 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名（技術分野）	月	単元・章・節・教材名（家庭分野）	時数
4	技術分野ガイダンス 技術の見方・考え方 材料と加工の技術	4	家庭科分野ガイダンス	6
5		自分らしく着る・快適に着る		
6		6	衣服の選択と表示	5
7		7	衣服の手入れ	
9	材料と加工の技術 木材を用いた製作品	9	布を用いた物の製作	12
10		10		
11		11		
12		12	住生活 住まいの役割と住まいの空間 住まいの掃除	3
1	生物育成の技術	1	健康・快適・安全な住まい方	4
2		家庭内事故事故を防ぐ	5	
3				
年間時数				35

2 1学年 技術・家庭科の目標

	(1)	(2)	(3)
技術分野	生活や社会で利用されている材料と加工の技術、生物育成の技術について、基礎的な理解とそれに係る技能、生活や社会、環境との関わりについて習得を目指す。	生活や社会の中から技術に関わる問題点を見出して課題を設定し、試作等によって具体化し、実践を評価・改善し、課題を解決する力を育成する	よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫しようとする実践的な態度を涵養する。
家庭分野	家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。	家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。	自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

3 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
技術分野 観 点 の 趣 旨	生活や社会で利用されている材料と加工の技術、生物育成の技術について、基礎的な理解とそれに係る技能、生活や社会、環境との関わりについて習得している。	生活や社会の中から技術に関わる問題点を見出して課題を設定し、試作等によって具体化し、実践を評価・改善し、課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切に技術を工夫し、実践しようとしている。
家庭分野 観 点 の 趣 旨	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評価方法	技術 期末考査・実習・小テストなど 家庭 期末考査・実習・実技テスト	技術 期末考査・ワークシート・レポート 家庭 ワークシート・課題・レポート	技術 ワークシート・振り返り 家庭 ワークシート・課題・レポート
割合	3分の1	3分の1	3分の1

府中市立府中第六中学校 令和7年度 1 学年 英語科 評価計画

1. 年間の授業の目安

月	単元・章・節・教材名	時数
4	Let's Be Friends! オリエンテーション、小学校の復習	40
5	Unit1 Here We Go! (be動詞、一般動詞、can)	
6	Unit2 School Activities (疑問文 :be動詞、一般動詞、can) Unit3 Enjoy the Summer (what do you, 動名詞、want to~)	
7	World Tour 1 (世界の中学生)、文法(am,are / 一般動詞 /can) のまとめ、 You Can Do It! 1 (友達の新しい一面を見つけよう)	
9	Unit4 Our New Friend (This is~ . That is ~. / She's ~. He's ~/ Who~ / Is he ~?) Daily Life 1 落とし物 (Whose)、Active Grammar(代名詞)	65
10	Unit5 Hi, David! (Where / 命令文 / When / Whose / 代名詞) Daily Life(注文)	
11	Unit 6 Cheer Up, Tina (3人称単数を主語とする一般動詞を使った肯定文・疑問文・否定文) Daily Life(バス停、道案内)、Active Grammar(is/3人称単数現在形/疑問詞) World Tour (世界の中学生②)	
12	Unit 7 New Year Holidays in Japan (過去形) Active Grammar(同士の過去形)、Daily Life(イベントの案内)	
1	Unit 8 Getting Ready for the Party (現在進行形、look 形容詞)	35
2	World Tour2(世界の中学生)、Active Grammar(現在進行形/過去進行形)	
3	Let's Read2 (The Lion and the Mouse) , 1年のまとめ	
年間時数		140

2. 1 学年英語科の目標

(1)	(2)	(3)
外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解したり、これらを活用して表現したり伝えあったりすることができる力を養う。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

3. 評価の観点・趣旨・評価方法・割合

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	知識…英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。 技能…実際のコミュニケーションにおいて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて話したり書いたりして表現したり伝えあったりする技能を身に付けている。	話すこと・書くこと…コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話したり書いたりして表現したり伝えあったりしている。 聞くこと・読むこと…日常的な話題や社会的な話題について話されたり書かれたりする文章等を聞いたり読んだりして、コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、必要な情報や概要、要点などを捉えている。	話すこと・書くこと…日常的な話題や社会的な話題などについて、目的や場面、状況などに応じて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて、話したり書いたりして表現したり伝えあったりしようとしている。 聞くこと・読むこと…コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題などについて話されたり書かれたりする文章を聞いたり読んだりして、必要な情報や概要、要点を捉えようとしている。
評 価 方 法	・定期テスト ・確認テスト(スプリングコンテスト、単元テスト、単語テスト含む) ・リスニングテスト ・実技テスト ・発表活動 ・課題(英作文等)	・定期テスト ・単元テスト ・リスニングテスト ・実技テスト ・発表活動(スピーチ、スキット等) ・課題(英作文等)	・定期テスト ・確認テスト(スプリングコンテスト、単元テスト、単語テスト含む) ・実技テスト ・発表活動 ・授業中の取り組み ・課題や提出物等への取り組み
割 合	3分の1	3分の1	3分の1